

Labo NEWS

Aichi Association of Medical Technologists Report



らぼニュース



CONTENTS

- 巻頭言 広報部の活動について 1
- 国際交流事業報告 2
- メールアドレス登録のお願い 2
- 愛臨技HP求人情報掲載について 2
- 令和5年度愛知県臨床検査精度管理調査結果検討会に参加して 3
- 令和6年度タスク・シフト講習会前期について 3
- 地区だより(尾張西) 4
- 会員執筆物の紹介原稿募集 4

2024年1月1日現在 正会員数 3,758名

広報部の活動について

広報部 岡田 和洋

愛知県臨床検査技師会の広報部は主に愛臨技ホームページの作成や編集、「会報らぼニュース」の作成や研修会などのサポートをおこなっております。今年度から紙面による「会報らぼニュース」が廃止されたこともあり、ますます愛臨技ホームページを閲覧する機会が多くなってきていると感じております。愛臨技ホームページは多いときは、1ヶ月に9,000名以上の訪問者、のべ38,000以上ものアクセスをいただくようになりました。愛臨技ホームページには会誌らぼニュースの他、各行事の案内、精度管理報告、AiCCLS など、様々な情報を掲載しておりますので、ご活用いただければ幸いです。

コロナ禍で現地開催による研修会が制限される中、愛臨技はYouTubeによるオンデマンド配信による研修会を積極的に開催してまいりました。オンデマンド配信は時間・場所に縛られることなく配信された動画を繰り返し閲覧でき、内容を深く学ぶことができるメリットがあると思います。また、現地開催は、研修会の生の雰囲気を感じながら直接討議をおこなうことができ、参加者の交流の場となり大変有意義であると思う一方、日程や開催場所が限られることから、参加できないこともあります。コロナ感染症が5類になった現在、現地開催+オンデマンド配信でのハイブリッド型研修会が増え、参加者は状況に応じた参加が可能になりました。研修会参加方式の選択ができることで、より参加しやすくなり、有意義であると感じております。

広報部では研修会で録画した動画を編集し、YouTubeにUploadしております。また研修会の配信が確実に視聴者に届くよう、ライブ配信の準備や研修会の配信の手助けをおこなっております。

また医師・看護師などに比べ臨床検査技師の認知度は高くありません。臨床検査技師とはなにか、どのような仕事をしているのかを、広く一般の方にご理解いただけるよう、ホームページなどを通じ広報活動に努めて参りたいと考えております。

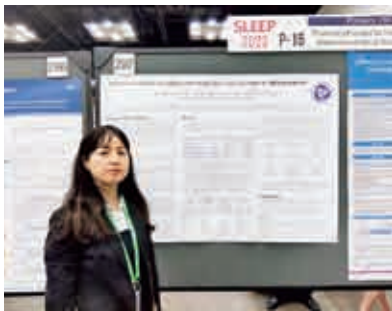
会員の皆さまには、日臨技に登録されているメールアドレス宛に、毎月情報を配信しております。もし届いていないようでしたら、お手数ですが日臨技の会員情報ページでメールアドレスの登録および迷惑メールとならないよう受信側の設定をお願いいたします。

なお、広報部では部員を募集しております。興味のある方は愛臨技事務局までご連絡ください。心よりお待ちしております。



SLEEP2023 in Indianapolis での発表を振り返って

名古屋大学大学院医学系研究科精神医療学寄附講座 宮田 聖子



望が多く、あらかじめ1,2分程度の要約を作り、覚えておくの良いと思いました。当日は、研究者や医療チームなど、在宅での睡眠評価に興味ある方たちか

アメリカでの学会発表に際し、愛知県臨床検査技師会より国際交流助成金をいただきましたこと、深く感謝申し上げます。お陰様で、アメリカでの学会参加および研究発表を恙なく終えることができました。

私が参加しました SLEEP2023は、毎年アメリカ各地で開催され、基礎から臨床にわたる幅広い分野の研究者・学生・医療関連企業が参加する睡眠に特化した学会です。また、SDGs に対する配慮もなされており、自身が「He/She/They」で呼ばれたのかを名札で表示できたり、バリアフリー、食事内容の多様性も見られました。

私は、「睡眠薬の投与前後における、在宅での客観的な睡眠指標の変化について」のポスター発表を行いました。治験では睡眠検査を検査室のみで実施し、市販後研究では主観的な睡眠指標のみが評価されています。そのため、実際の臨床では本当に睡眠が改善しているのか確認できておらず、この研究を実施しました。ポスターセッションでは基本的に話しかけられるのを待っているのですが、発表内容のサマリーを説明してほしいとの希

ら、検査法や結果についての質問をうけ、とても興味深いディスカッションができたと思います。

SLEEP2023では Technologist track という、検査技師向けの特別なセッションも併設されました。緊急時の事例、その対応に関する実際の体制づくり、薬物依存患者における検査結果の判読や結果の変化および対応についてなど、学会期間を通して多くのセッションが開催されていました。臨床において役立つこれらのセッションを聴講することで大変勉強になりました。

学会の共通言語が英語ということもあり、講演者、参加者共に多種多様な人種・民族の方が参加されていました。ノンネイティブの方も多く、訛りが強く聞き取りづらい英語もありますが、皆さん、自身の研究内容に誇りを持たれ発表されました。日本人の英語は訛りが少なく比較的聞き取りやすいと言われており、ぜひこの報告を読まれている方たちにも自信をもって英語での研究発表をしていただきたいと思います。

この度はご支援いただき誠にありがとうございました。重ねてお礼を申し上げます。

メールアドレス登録と受信設定のお願い

毎月会報『らぼニュース』Web 版発行のお知らせを日臨技会員システムに登録されたアドレス宛にメール配信しています。その他、重要な情報提供、お知らせなどもメール配信させていただきます。会員の皆様には登録メールアドレスの確認と、変更がありましたら日臨技会員専用ページにて変更手続きをお願いします。また、迷惑メール防止の受信設定をされている方は、下記のメールアドレスからの受信ができるよう、設定をお願いします。ご理解とご協力をいただけますようお願い申し上げます。

jamt_pref23@sys.jamt.or.jp

愛臨技HP 求人情報掲載

愛臨技 HP に臨床検査技師求人情報の掲載を始めました。

掲載を希望される会員は、愛臨技 HP 会員サイト内「各種手続き」、「求人掲載依頼」画面にて必要事項を入力、求人票登録をお願いいたします。

なお、求人掲載は施設会員のみとしますが、求人情報は会員以外でも閲覧可能です。

詳細は愛臨技 HP にてご確認ください。

令和5年度 愛知県臨床検査精度 管理調査結果検討会に参加して

新城市民病院 臨床検査課 加藤 麻友

令和5年11月19日にウインクあいちにて愛知県臨床検査精度管理調査の結果検討会が開催され、私は微生物部門に参加させていただきました。会場は分野ごとにテーブルで分けられており、微生物部門では解説する設問ごとにテーブルが2つに分かれており、参加者同士で意見交換しやすい配置になっていました。微生物部門の担当者の方とも距離が近く、和やかな雰囲気です話をすることができました。

検討会では間違えてしまった設問について詳しく解説していただくことができたと同時に、他施設で精度管理調査を活かしてどのような対応を取っているのかなどを知ることができ大変参考になりました。また、同じ同定・感受性の機器を使用している施設間で機器の特性や気を付けなければならない点を聞くことができ新たな発見がありました。1時間という短い時間でしたが、日常検査において困っている点などを共有し、アドバイスをいただくことができました。

当院は、微生物検査に従事して2年未満の技師2名で業務を行っており、また院内に指導者がいないこともあり、知識・技術などが他施設と比べて確立されていない部分があります。このような状況下で、他の施設の皆様と交流し、アドバイスをいただく機会に恵まれたことを大変ありがたく思いました。

今後もこのような検討会や他施設の先生方と意見交換のできる場があれば、積極的に参加したいと思います。



令和6年度 タスク・シフト／シェアに関する 厚生労働大臣指定講習会開催予定(前期)

令和6年度の前期については下記の日程を予定しております。募集開始は2か月前の同日0時受付開始で準備しております。令和6年度は10回の開催を予定しております。なお、本事業は令和7年度で終了予定です。

4月21日(日)	藤田医科大学
6月 9日(日)	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院(八事日赤)
6月30日(日)	藤田医科大学
7月 7日(日)	名古屋医療センター
9月29日(日)	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院(八事日赤)

以上の日程を予定しておりますが日程が変更・中止となる可能性があります。

WEBによる基礎講習を修了していないと受講受付されませんので、積極的に基礎講習を受講しておいてください。



稲沢市民病院は昭和23年に稲沢病院として開院し、昭和33年に稲沢市民病院へ改称され、平成26年11月に新病院として現在の稲沢市長東の地へ新築移転を行い一般外来診療が開始されました。令和4年10月3日には高齢者の骨折治療などを行う転倒骨折センターが新たに設立され、整形外科と脳神経外科が中心となり、従来の手術を含めた治療を行うだけでなく、老年内科とも連携しながら、専用病棟を確保して復帰のためのリハビリテーションの早期介入、栄養指導や再骨折予防も含めたトータルケアを行います。開業医、近隣病院と協力しながら高齢者を地域全体で支えています。

また当院の脳神経外科は脊椎脊髄疾患・末梢神経疾患の診断・外科治療のエキスパートであり2016年日本脊髄外科学会認定指導施設48施設(2018年現在)の1つになりました。市内だけではなく近隣の一宮市、名古屋市、そして三重県、静岡県などの遠方からの症例も増えています。これからも地域の中核病院として「親しまれ信頼される病院」を目指し、医療を提供してまいります。

ここで当院がある稲沢市について紹介したいと思います。稲沢市というとやはり2月冬に行われる奇祭“国府宮はだか祭り”をイメージする方が多いのではないのでしょうか。他にも春は桜ネックレス、初夏にはあじさいまつり、秋はそぶえイチョウ黄葉まつり、稲沢サンドフェスタと四季を通じて楽しめるイベントがたくさんあります。その中

でも今回は稲沢サンドフェスタについて紹介したいと思います。祖父江砂丘という木曾川特有の河岸砂丘があり、この川砂を使った大型の砂像が展示されています。場所はサリオパーク祖父江で例年10月上旬頃から開催されています。2023年のテーマは「心落ち着く場所～“サ”像でととのう～」です。写真はサンドクリエイターズ作の“野営(キャンプ場)”で、当検査室の技師が手がけました。2023年は12基の作品がありどれも川砂で作ったものとは思えないほど精巧な出来となっております。また近くにはちびっこ広場、テニスコート、プール、バーベキュー広場等があり休日には多くの家族連れで賑わっています。お近くにお寄りの際はぜひお越しになってみてはいかがでしょうか。



会員執筆物の紹介原稿募集します！

会員の業績紹介の一つの方法として、らぼニュースにて論文、書籍執筆(分担執筆を含む)などの紹介掲載を受け付けます。自薦・他薦は問いません。

掲載を希望される方は愛臨技 HP【会員サイト】(各種手続き)に申請書、手続き方法を掲載してありますのでご覧いただき、お申し込みください。



愛臨技 HP